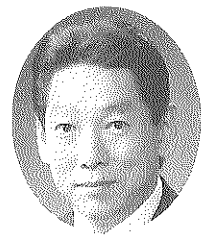


発行所
北海道北見市北町
北見北斗高校同窓会
事務局 ☎24-3195
印刷：(株)須田製版



新体制を代表して

同窓会会長
永田 裕一

2023年度代議員総会におきまして、小原前会長に代わり同窓会長を拝命致しました59期の永田裕一です。会長就任にあたり、「一言ご挨拶を申し上げます」。

初めに、当会顧問の黒部哲哉先輩(40期)が病氣療養中の11月6日、道半ばに逝き去られましたことをお伝え致しますと共に、喜寿を迎えたばかりの心痛む訃報に際し、ご家族の皆様にご哀悼の意を申し上げます。

さて、これまで前会長の下に幹事長を務めて参りましたが、優秀な同窓生が大勢いらした中にも、重責を担うこととなり大変心苦しい限りでございますが、まず10年という長きに渡り本会を牽引頂きました小原前会長に深く御礼申し上げます。

この度、新たな幹事長には、62期の細川秀樹氏(現職・市議会事務局次長)にお引き受け頂き、新副会長のほか心強い先輩にも支えて頂ける環境ができました。次期のバトンタッチまでしっかりと中継ぎ役を務めて参りたいと思っております。皆様どうか暖かく見守って頂ければ幸いです。

現役時代、母校への思い入れが強かったとは言い難い私ですが、両親に加え同期の妻と3人の子が3代に渡る同窓となり、子供達の在学中はPTAと役員も拝命したことで本校との繋がりをより強く実感するようになりました。

現在私は、「北見ハッカ通商」という会社を営む傍ら、本会監査を務めて頂いている同期の

信田君の農地を借り薄荷栽培にも取り組んでおりますが、これも当番幹事あつてのこと。いま、減多に会うことのなかった同級生と会える機会が増えたことに同窓会活動の有難さを感じております。

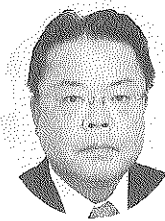
2022年度は「COVID-19」の猛威が収まらず様々な制約を受ける中、本校100周年という大きな節目を迎え、これに花を添えるかのようになにが花園出場も実現しました。

この度2300万円以上の協賛金を募ることができました。役員その他大勢の皆様のご尽力の賜物であると同時に、生徒を含めた同窓全体のモチベーションアップによるものと感謝しています。

一大事業の締めくくりとなる記念誌編集におきましても、90周年に続く55期の宮本先輩を中心とした編集委員会の皆様に相当なお時間を割いて頂きまして、素晴らしい記録を残すことができ、記念事業全般が成功裡に達成されましたことに重ねて御礼申し上げます。

北見高校は平成20年度より、医学部進学及び医療従事者を志望する学生への支援体制として「医学進学類型」の指定を受け、平成28年度にはSSH指定(スーパーサイエンスハイスクール)となり、昨年は数少ない2期目の指定校と同時に、道内7校目となる「理数科」が設置されました。オホーツク管内の基幹校として、いよいよ先進教育の環境が充実してきた所です。

100周年記念事業の柱に



感謝 退任にあたって

同窓会前会長
小原 誠

令和4年9月17日、100周年記念式典が皆様に出席頂き厳粛に挙行されました。コロナ禍で参行する制約があり、生徒の参列は3年生のみとなり1・2年生は各教室でのオンライン参加となりましたが、総勢400人規模での式典となりました。

式辞は57期卒業生でもある元村治郎校長、100周年という大きな節目に今までの感謝と本校の輝かしい歴史と伝統をさらに継承・発展し「文武両道」「質実剛健」を胸にする挨拶されました。

私からは卒業生諸氏からの母校への多大なる御支援の感謝と100周年に携わった皆様の御礼に感謝を申し上げます。

も整ってきたと言えるでしょう。今後、当地から巣立って行く生徒に大きく羽ばたいてもらうためにも同窓会とPTAが一体となつて、意義ある支援活動を通じて参りたいと考えておりますので、皆様のお知恵と共に、同窓会活動へのご理解とご支援を頂ければ幸いです。

最後に、同窓生の交流の輪がより一層深まりますこと、皆様のご健康を心から祈念致しますと共に、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。今後共、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年4月1日から北見北斗高等学校第34代校長として着任しております平野道雄です。

北見北斗高校同窓会「とどの実会報」の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、本校教職員及び生徒を代表し衷心より感謝を申し上げます。また、昨年度の創立100周年事業にあたっては、記念式典や記念講演、記念誌発行のほか、生徒の教育活動の充実を資する環境整備などにご協力をいただき、あらためて厚くお礼申し上げます。そうした皆様方のご支援とご協力のおかげで、「みらいとコネク」北見北斗を合言葉に、今年度全日制3学年普通科6クラス、2・1学年普通科5クラスと理数科1クラスの計18クラス、定時制普通科各学年1クラスの計4クラス、700名を超える生徒たちが、本校を学び舎に充実した毎日を送っています。

さて、学校教育に関わっては、国や北海道において、「主体的・対話的で深い学び」を目指す新しい学習指導要領の円滑な実施や、GIGAスクール構想による教育DX・STEAM教育などの各教科等横断的な学習等の充実が進められる中、本校でも、育成を目指す資質・能力を明確にし、総合的な探究の時間を中核に、自ら課題を設定し解決を図るプロセスにおける探究活動や、様々な場面での情報端末の学習ツールとしての積極的な活用など、教

も整ってきたと言えるでしょう。今後、当地から巣立って行く生徒に大きく羽ばたいてもらうためにも同窓会とPTAが一体となつて、意義ある支援活動を通じて参りたいと考えておりますので、皆様のお知恵と共に、同窓会活動へのご理解とご支援を頂ければ幸いです。

最後に、同窓生の交流の輪がより一層深まりますこと、皆様のご健康を心から祈念致しますと共に、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。今後共、どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集委員長・会計監査信田直哉(59期・渡部道博(52期)前校長、事務局赤羽史人(64期)本場にありがとうございしました。

これを期に北見北斗のこれまでの100年そしてこれから



未来に向かう学び舎 「北見北斗高校」

校長
平野 道雄

職員が力を合わせ教育活動に従事しているところです。そうした中、全日制においては、普通科「多様な学び」と理数科「とがった学び」と表現し、平成20年度からの北海道教育委員会指定の「地域医療を支える人づくりプロジェクト」、平成29年度からの文部科学省指定のスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)などを足がかりに、グローバルな視野で持続可能な社会の創造に貢献する生徒を育成するため、地域の医療機関や大学等の協力を得ながら、「探究的な学び」に取り組んでいます。

また、定時制においては、一人一人の多様な学習ニーズに応える「ゆとり」「和やかに」

と表現した教育活動は地域からの期待を寄せられ、下の学年になるにつれ入学者や在籍者の数も多くなつており、「個別最適な学び」はもとより、「協働的な学び」の場として、豊かな人間性やコミュニケーション力の伸長に取り組んでいます。

学校行事においては、感染症対策の緩和に伴い、強行遠足や全日制文化祭の仮装パレードが以前のような形で行われ、建学の精神「文武両道」「質実剛健」を体現する取組として、保護者や同窓生の皆様から実践されたほか、生徒の興味関心に応じた自主的自発的な部活動においては、全日制24の部局、定時制2つの部それぞれがその特性に応じた大会やコンテストなどを直近の目標や節目にしなが、日々の積み重ねを大切に、放課後や休日の活動に励んでいます。

と表現した教育活動は地域からの期待を寄せられ、下の学年になるにつれ入学者や在籍者の数も多くなつており、「個別最適な学び」はもとより、「協働的な学び」の場として、豊かな人間性やコミュニケーション力の伸長に取り組んでいます。

学校行事においては、感染症対策の緩和に伴い、強行遠足や全日制文化祭の仮装パレードが以前のような形で行われ、建学の精神「文武両道」「質実剛健」を体現する取組として、保護者や同窓生の皆様から実践されたほか、生徒の興味関心に応じた自主的自発的な部活動においては、全日制24の部局、定時制2つの部それぞれがその特性に応じた大会やコンテストなどを直近の目標や節目にしなが、日々の積み重ねを大切に、放課後や休日の活動に励んでいます。

北見北斗高校公式ホームページ

<http://www.kitamihokuto.hokkaido-c.ed.jp>

SSHの活動を始め、北見北斗高校の最新情報をお知らせしています。ぜひご覧ください。

支部だより

札幌支部
「札幌とどの実会の
親睦事業」レポート



札幌とどの実会会長
佐々木 亮子 (40期)

2018年にスタートした「とどの実女子会」は、その後「お話しサロン」という名称に変わり、コロナ禍の試練を乗り越えて昨年11月に第8回目を数えるに至りました。

ゲストスピーカーは札幌市の郷土史研究家、茂内義雄氏(34期)です。茂内氏は38年間の教員人生を送る中、赴任先の郷土史に関わっているうちに郷土史研究がライフワークになったといっています。

札幌市手稲区曙に住む茂内氏は、昭和5年の小学校の日誌から当時の手稲村に設置された民間の「北日本飛行機学校」を見つけ出し、半世紀以上にわたって調査研究を続け、地域の歴史を掘り起こされました。この飛行士養成学校は3年間だけ手稲に存在し、その後は北区に移転しましたが、その前後の背景になる確たる証拠は見つけられなかったそうです。

しかし、調査の過程で「北日本自動車学校」の伏木田隆作氏との関係性を発見しました。時代のさきがけ伏木田隆作氏は、現在の北海道科学大学(手稲区)の創始者です。「飛行機」と「自動車」、当時の夢と憧れから戦争へ向かった史実を茂内氏は10年がかりで『北日本飛行機学校物語』として刊行し、我々札幌とどの実会の会員に語り伝えてくれました。

このように多岐にわたる分野で活躍してきた北見北斗高校の同窓生は、「お話しサロン」の語り部として相応しい方がたくさんいらっしゃいます。

また、親睦事業の一つである今年の「囲碁会」においては、札幌とどの実会の会員ではないのですが、本年10月に札幌に支店を開設された北見信用金庫の高薄和哉支店長と東京とどの実会の元副会長前田良三氏(40期)が参戦してくれました。8段と5段という腕前のお二人は熱戦の末、前田良三氏が優勝に輝きました。

このように各地のとどの実会会員同士や北見に縁やゆかりのある方がピタリとして参加されるのは、高齢社会の同窓会活動の一つのカギになると感じています。来年も東京とどの実会の前田氏の挑戦を受けて、札幌とどの実会の囲碁会の皆さんにはより一層のご奮闘を期待する次第です。

上記の他には、春季と秋季の「パークゴルフ会」、旭山記念公園北斗の杜における「野遊会」、春と秋の「ゴルフ会」が親睦事業として開催されています。

ます。もう一つ「とど飲み会」があるのですが、コロナ禍のため中断されたままでまだ再開されていません。58期の渋谷篤氏がスキノで経営する「キリンビル園」が会場になる予定です。



旭川支部
4年ぶりに開催

旭川とどの実会事務局局長
佐藤 勝 昭 (52期)

旭川とどの実会総会・懇親会を8月25日旭川市内のホテルにおいて4年ぶりに開催しました。

今年とはとどの実会会長の永田祐一氏、前会長で北見北斗高校の100周年関連業務に尽力された小原誠氏、当会中野均会長の同期(52期)大江修氏の3名にご出席いただきました。

参加者は、コロナの影響もあり、若干少なかったのですが、34期から94期までの15名の方が参加されました。

毎回参加いただいている方や20数年ぶりに参加いただいた方、

今年社会人となった青年と幅広い層の同窓生の元気に接することができました。

懇親会では、恒例となっている個人スピーチで現在の状況や高校時代のエピソード、自慢話をユーモア交えて披露していただきました。

中でも34期の田巻先輩(83歳)は、北見北斗高校に伝わる「ファイヤーストームの歌」を熱唱してくれました。

この頃は昭和32年ころ、文化祭のクライマックスでファイヤーストームをやりたいとの要望があり、実施にあたっては火の始末など多少問題があったのですが、当時の小野謙治校長の英断により、実施することになったそうです。

やるからには歌が必要だということになり、当時、北大を卒業し、教鞭をとっていた数学の小山先生、国語の浅野先生の力をお借りして、有志一同で歌詞をつくり、メロディーは北大のファイヤーストームの歌である「札幌農学校は蝦夷ヶ島」



のものを借用したそうで、1番から4番まであります。

1番だけを紹介すると、北見北斗は野付牛

とどの実 野原の果てに たつ校舎

コチャ ポプラの木陰で 真理解く

コチャエー コチャエー

ご記憶のある方はいるでしょうか、総会参加者では、35期の方を含め誰も知りませんでした。

幻の替え歌を熱唱した田巻先輩は、ラグビー部が団体3位に輝いた時のウイングで、現在も現役ラグーマンとして活躍しており、90歳以上のラグーマンに贈られる金色のジャージパンツを目指して日々努力していると伺いました。ちなみに当時監督であった義口一光氏(91歳)には既に贈られているとのことでした。

久しぶりの楽しい総会ではありましたが、最近では会員数、総会参加者が減少傾向にあります。旭川とどの実会も設立から50数年、中野会長が4代

目会長であり、過去には100人を超える会員が総会に参加したこともあったそうで、この長い歴史を次の世代に繋いで行くためにも、あらゆるアンテナを活用して、会員拡大を目指しておりますので、旭川及び近郊にお住まいの方のご連絡をお待ちしています。

関西支部
新たな世紀が始まる



関西とどの実会事務局局長
工藤 和 男 (44期)

母校創立百周年記念もはや一昨年のことになり、新しい百年の歩みが始まりましたね。『記念誌』を拝見しながら母校の伝統の重みを改めて感じています。しかも一昨年はコロナ禍で集まれなかった三年間の心残りを吹き飛ばすように、13年ぶりにラグビー部が関西花

園にやってくるので、こちらの同窓生には何よりのプレゼントでした。これからの後輩たちが、ラグビー部に限らず、それぞれの能力才能を存分に生かし鍛え花咲かせてくださるように祈つてやみません。

支部総会・懇親会も四年ぶりに4月22日に開催しました。休止が続いたせいか、出席数は二名と少なかったのですが、旧交を温めることができました。

でも日本縮図のように高齢化が進んでいて、若い方々に参加してほしいなあ、と嘆息しています。関西とどの実会(頼まれたわけではありませんが)西日本全域をカバーしていますので、京阪神から遠い方々にはやはり集まりにくいのは否めませんね。ただ、発行している「通信」が、共通の出発点からの各々の人生の越し方思いを馳せる一助になっているのでは信じて、今後も活動してゆきたいと思っています。

とどの実会役員

●北見本部		
顧問	平野 道雄	(現校長)
顧問	渡辺 和勇	(26期)
顧問	小原 誠	(52期)
顧問	小泉 勝裕	(40期)
顧問	小永田 裕一	(59期)
顧問	阪田 龍一	(46期)
顧問	戸村 雅俊	(54期)
顧問	栗原 太郎	(56期)
顧問	中谷 真人	(57期)
顧問	中村 寿志	(58期)
顧問	田尾 航太	(63期)
顧問	田巻 順子	(65期)
顧問	信直 哉	(59期)
顧問	宮本 幸喜	(55期)
顧問	細川 秀樹	(62期)
顧問	菊田 幸作	(69期)
顧問	佐藤 由美子	(67期)

天
內
健
吾

最後に、「とどの実会懇親会」にご協賛いただきました企業・団体・同級生の皆様には、深く感謝を申し上げますとともに、今後も現役学生の活動を支援していくために、当会がますます発展されますことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

花先生、伊藤先生、大会当日までずっと指導をしてくれた

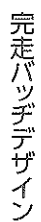
走高跳という種目は、目の前にあるのはただの棒で、た

みました。しかし、やはり千億大会の壁は高く、相手は多

みました。しかし、やはり千億大会の壁は高く、相手は多

機を逃すまい」と必死に楽譜と楽器、仲間と向かい合つて

佐藤陽茉莉



(令和5年度)

強行遠足

完走バッヂデザイン



完走



3年4組

佐藤陽子

合格者数 現役（過年度）

令和五年三月卒業

【全日制】	
国立大学	神戸大学
旭川医科大学	和歌山大学
医	鳥取大学
看護	岡山大学
小樽商科大学	熊本大学
帯広畜産大学	公立大学
畜産科学	はこがて未来大学
北見工業大学	札幌市立大学
地球環境	釧路公立大学
地域未来デザイン	名寄市立大学
北海道大学	千歳科学技術大学
法	札幌医科大学
経済	医
教育	保健医療
総合理数	高崎経済大学
総合物理	埼玉県立大学
総合化学	千葉保健医療大学
総合生物	東京都立大学
総合理総合	川崎市立看護大学
理学	静岡県立大学
工学	愛知県立大学
水産	名古屋市立大学
医療保健	京都府立大学
薬学	北九州市立大学
北海道教育大学	私立大学
札幌校	旭川大学
函館校	札幌大学
旭川校	札幌学院大学
釧路校	札幌国際大学
岩見沢校	藤女子大学
室蘭工業大学	北星学園大学
創造工	北海学園大学
弘前大学	北海道医療大学
人文社会	北海道科学大学
教育	酪農学園大学
理工	北翔大学
岩手大学	日赤北海道看護大学
秋田大学	北海道文教大学
茨城大学	天使大学
千葉大学	札幌保健医療大学
東京海洋大学	札幌大谷大学
富山大学	札幌保健医療大学
金沢大学	日本医療大学
山梨大学	千歳リハビリ大学
信州大学	岩手医科大学
愛知教育大学	仙台大学
大阪大学	

[illegible]

教職員の動向

就 職 状 況	
(全日制)	
国土交通北海道運輸局	1
中神土木設計事務所	1
(定時制)	
北見市役所	1
株式会社 アース環境	1
マルコン 苫小牧	1
○転出退職	
(全日制)	
○転出退職	
元村 治郎(校長)	退職
山崎 辰也(地公)	退職
津別高校教頭	

令和五年度
高野連・高体連・高文連・定体連

[illegible]

会費納入のお願い

皆さまからお預かりした会費は同窓会運営の
ほかSS日研修補助や部活動大会出場補助な
ど在校生の活動にも役立っています。同封した
振替用紙に必要事項をご記入いただき、お近く
の郵便局にて納入いただき、同窓会活動・在校
生の活動にご協力をお願いいたします。

すでに今年度の会費を自身で振り込みをされ
た会員の皆様におかれましては、行き違いをご
容赦ください。振替用紙は破棄願います。

払込取扱票		商會振込用紙 個人振込用紙
02	100000	100000
0278004	515567	515567
北海道北見北斗高等学校		北海道北見北斗高等学校
〒121-8501 北見市南十町1-10-1		〒121-8501 北見市南十町1-10-1
TEL 0157-22-1111 FAX 0157-22-1112		TEL 0157-22-1111 FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112
E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp		E-MAIL hokkaido@hokkaido-nenkaikai.jp
FAX 0157-22-1112		FAX 0157-22-1112

編集後記

発行予定の会報ですが、今年度は事務局のメンバーが替わりのメンバーが替わり、不慣れなため大幅に発行が遅れました。大変申し訳ありません。さて、新型コロナウイルス感染症拡大のために学校、同窓会活動ともにここ数年は大幅な縮小を余儀なくされていましたが、今年度は8月に同窓会懇親会を72期のメンバーを幹事とし、ホテル黒部にて盛大に開催することができました。今後もう少しずつ平常の活動に戻していくことができればと考えています。